

令和6年度 箱根町町政モニター第4回アンケート調査結果

1 調査概要

○ 調査テーマ

空き家の有効活用について

○ 調査理由

近年、少子高齢化、人口減少が進むなか、本町でも空き家(空き店舗等含む)が増えてきています。空き家の活用については、所有者によるところが大きいですが、空き家を有効活用することにより、地域活性化につながる取り組みも増えてきています。そこで、皆さんに空き家の有効活用について伺います。

○ 回答期間

令和6年10月3日(木)～10日(木)

○ 対象者

箱根町町政モニター 70人

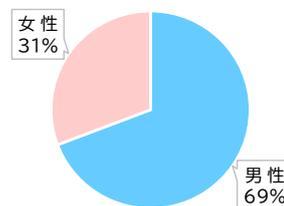
○ 回答者数(回答率)

13人(18.5%)

○ 回答者の基本属性

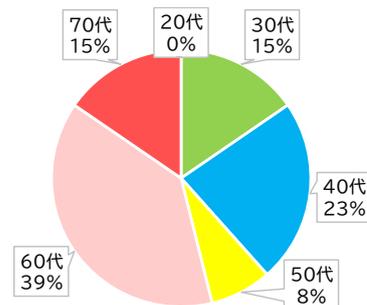
性別	回答者数	割合
男性	9	69.2%
女性	4	30.8%
合計	13	100.0%

【性別】



年齢	回答者数	割合
20代	0	0.0%
30代	2	15.4%
40代	3	23.1%
50代	1	7.7%
60代	5	38.5%
70代	2	15.4%
合計	13	100.0%

【年齢】



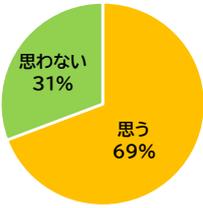
2 調査結果の総論

- 空き家について
 - 全国的に空き家が増加傾向のなか、モニターの自宅周辺でも空き家が増えていると思う方が約69.2%と多くの方が実感している結果となった。
- 活用について
 - 定住を望む方が約半数を占め、住みやすい環境作りや地域コミュニティスペースを望む方が約半数を占めた。約1%が宿泊施設としての観光客の誘客を求めたが、多くが定住や住民のための活用を望んでいるので、活用については参考にしていきたい。
 - また、地域のコミュニティスペースとしての活用方法については、各種教室などができる趣味スペースを望む方が約40%と多くできたが、それ以外は疎らであったため、地域にあった活用を検討していきたい。
- 町の取り組みについて
 - 町が仙石原で行っている移住に向けた取り組みは、約80%と多くの方に認知されており、さらには約60%以上の方が、自身の地域でも移住に向けた活動を望んでいる結果となった。
 - また、移住の運営についても関わりたいと答えた方は30%、わからないと答えた方が20%であったため、内容次第では運営に携わって頂ける可能性があると感じた。
- 自由記述のまとめ
 1. 労働者向けの住居として活用
 - ・宿泊施設の従業員(特に海外労働者)に安価で貸し出し、定住や子育てにつなげる。
 - ・一定期間後に購入または引越しを選択できる仕組み(車のローン方式)を検討。
 2. 防犯対策と環境整備
 - ・空き家の巡回・管理を徹底する。
 - ・庭付きの空き家は庭を開放して活用する。
 3. 定住促進のための活用
 - ・町営住宅や賃貸住宅として活用。
 - ・民間企業と連携し、収益性を確保しながら持続的な運用を行う。
 4. 移住促進と地域活性化
 - ・子育て世帯の移住を促すため、交通の便が良く、空き家・空き店舗が多い「大平台」に注目すべき。
 - ・地域経済の活性化と人口増加を目指す。
 5. 空き家の解体・撤去
 - ・倒壊の危険がある空き家や放置された宿泊施設の撤去を進める。
 6. 観光と住民のバランス
 - ・オーバーツーリズムの改善を求め、観光よりも住民の暮らしを優先するべき。
 7. 民泊の活用に関する意見の対立
 - ・賛成意見:地域活性化や財源確保のために民泊を活用すべき。
 - ・反対意見:民泊ではなく定住者向けに活用し、老朽化した空き家は取り壊すべき。
 8. 仙石原の取り組みへの関心
 - ・仙石原での空き家活用の具体的な活動について知りたい。
 9. 観光施設の偏りへの不満
 - ・新しい建物や施設が観光客向けばかりで、住民向けのが少ないことに不満を感じている。

3 アンケート集計結果

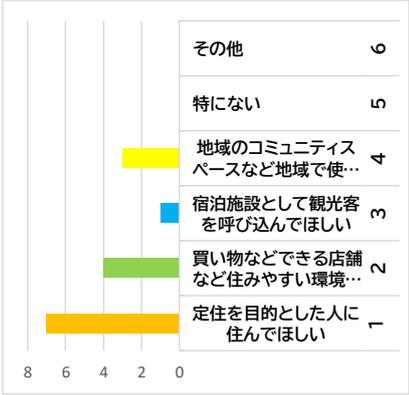
[1] 皆さんの自宅周辺や地域で空き家が以前と比べ増えてきていると思いますか？

選択項目	回答者数	割合
1 思う	9	69.2%
2 思わない	4	30.8%
合計	13	100.0%



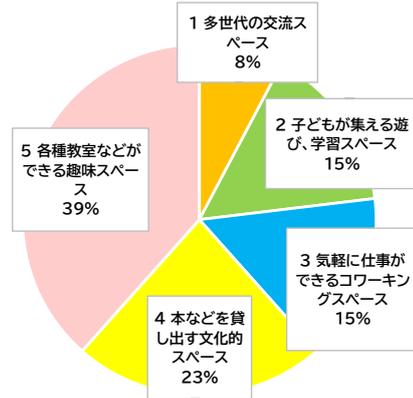
[2] 空き家の活用で望むものはなんですか？

選択項目	回答数	割合
1 定住を目的とした人に住んでほしい	7	46.7%
2 買い物などできる店舗など住みやすい環境作りに使ってほしい	4	26.7%
3 宿泊施設として観光客を呼び込んでほしい	1	6.7%
4 地域のコミュニティスペースなど地域で使える場にしてほしい	3	20.0%
5 特にない	0	0.0%
6 その他	0	0.0%
合計	15	100.0%



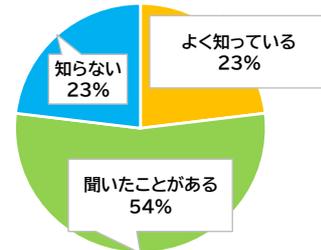
[3] 地域のコミュニティスペースとしての活用について、どのような機能があればいいですか

選択項目	回答数	割合
1 多世代の交流スペース	1	7.7%
2 子どもが集える遊び、学習スペース	2	15.4%
3 気軽に仕事ができるコワーキングスペース	2	15.4%
4 本などを貸し出す文化的スペース	3	23.1%
5 各種教室などができる趣味スペース	5	38.5%
6 その他	0	0.0%
合計	13	100.0%



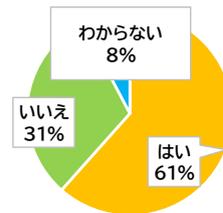
[4] 仙石原では、空き家を改修し、移住者希望者の体験住宅として町が運用しており、毎年多くの移住希望者が体験していますが、知っていますか？

選択項目	回答数	割合
1 よく知っている	3	23.1%
2 聞いたことがある	7	53.8%
3 知らない	3	23.1%
合計	13	100.0%



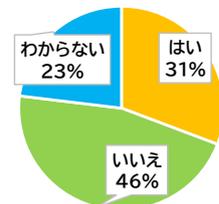
[5] 自分の地域にそういったものがあつたらいいと思いますか？

選択項目	回答数	割合
1 はい	8	61.5%
2 いいえ	4	30.8%
3 わからない	1	7.7%
合計	13	100.0%



[6] 空き家を地域で有効活用することにより地域が活性化する事例がありますが、そういったもの(運営や改修など)に関わりたいですか。

選択項目	回答数	割合
1 はい	4	30.8%
2 いいえ	6	46.2%
3 わからない	3	23.1%
合計	13	100.00%



[7]空き家の活用について全般的にご意見があれば教えてください(自由記述)

・宿泊施設で働いている方々は宿泊施設が準備している近くの寮に住んでいる人が多いと思います。近くで寮費は安いと思うが、狭かったり家族など持てる環境ではないと思うので、空き家そのまま放っておくならば、期間限定で安くで住んでもらい、子育て、定住に繋げたらどうだろうか？特に海外から来ている労働者には夢のある話だと思う。そして、ある程度の期間が過ぎたら買い取っていただく、もしくは、引越する、ような車のローンみたいな仕組みもいいかもしれない。

・防犯上、危険なこともありますので、空き家の巡回等は必要だと思います。また、庭付きの空き家も多いので、庭は解放してほしい。

・町営住宅として活用する。

・貸家にしてほしい

・民間と組むことで収益性を確保して持続的な取り組みとしてほしい。

・現在、箱根町では子育て移住を促進していますが、子育て世帯が広い箱根町に分散した場合、交通手段の確保が難しくなることは容易に想像できると思います。また、中学生までは箱根で過ごすことができて、箱根町には高校や大学が存在しないため、中学卒業と同時に箱根町を離れる家族も多いと聞いています。今後も子育て世帯の移住促進を進めるのであれば、小田原への交通の便(鉄道)が整っており、空き家や空き店舗が多い(と思われる)大平台に注目し、この地域に集中的に子育て世帯の移住を促進すべきであると考えます。

この施策により、(経済的に)地盤沈下が進んでいる大平台の活性化が促進できる上に長期的な人口増加も期待できると思います。

また、箱根はいたるところに、倒壊している空き家や放置された宿泊施設が目立ちます。手続きが困難であるとは思いますが、非常に見苦しいので、解体撤去も含めて対策を講じていただきたいと考えます。

・住んでいる人間の立場からは、オーバーツーリズムで大変迷惑しているので、その点をしっかり改善してほしい。観光よりも住民優先でぜひお願いします！

・防犯的にも空き家は有効利用すべきだと考えます。

移住推進だけではなく、民泊システムを有効に活用して地域の活性化、財源確保を検討していただきたい

・安価な賃貸家としての活用。

・民泊には活用しないこと。定住者を増やす方向で使い勝手を良くすること。老朽化したものは取り壊しを所有者に促進すること。

・仙石原の活動を詳しく知りたい

・新しく建物や施設ができたと思ったら、ほとんどが町外の観光客向けのものであることに、いつも残念に思っています。住民向けの空き家活用を期待しています。